



Business
ASPECT

さいたま市

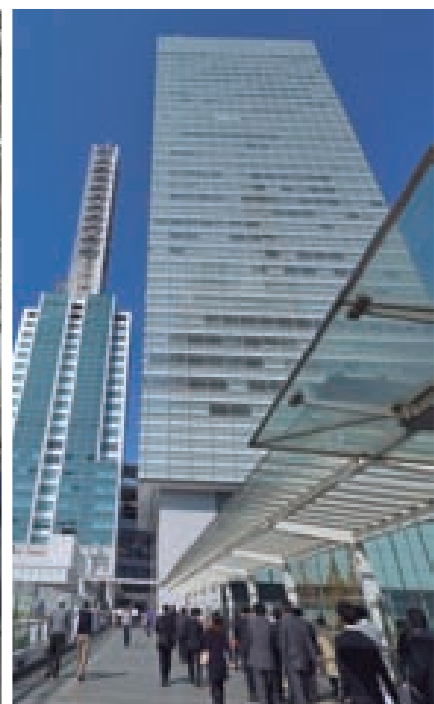
人も企業も集まる 選ばれる都市

SAITAMA

さいたま

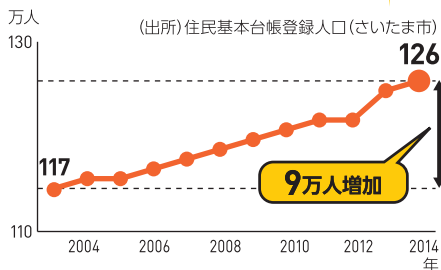
世界最高峰の自転車レース「ツール・ド・フランス」の名を冠した「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」が、昨年10月さいたま新都心駅周辺で開催された。2013年に初開催され、今回で2回目の開催となるが、観客数は10万人を超えた。さいたま市は、このように日々多くの人々でにぎわっており、居住地として選ぶ人も増えている。さらに、人が集まることでビジネスも生まれている。実際、さいたま市への企業進出数も増加を続けている。もともと、都心に近く交通アクセスに優れているが、鉄道網や道路網の整備により、「東日本の中枢都市」として、ますます存在感を発揮しつつある。

制作/東洋経済企画広告制作チーム



(定住人口)
住む人が増えている

10年間で
約9万人増加



(出所)総務省「国勢調査」昼間人口

2010年
約113万人

2000年
約103万人

10年間で
約10万人増加

通勤・通学者も
増えている (昼間人口)



なぜさいたま市に 人も企業も集まるのか

さいたま市は2001年に旧浦和、大宮、与野の3市合併により誕生し、その後、旧岩槻市との合併を経て、人口は約126万人と全国の政令指定都市中9番目の規模を誇る。定住人口、昼間人口、企業本社の転入数が10年間で増加。交通の要衝・大宮駅を抱え、人、モノ、情報等企業活動に重要な資源が集まる環境にあることが、同市の強みである。



JR東日本エリア 1日平均乗車人員

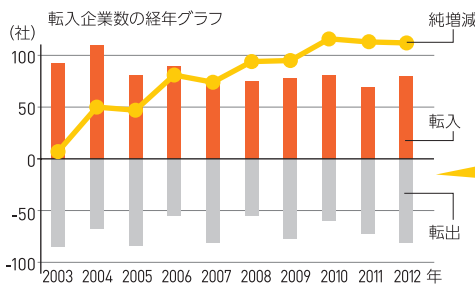
1位 新宿 約75.1万人	2位 池袋 約55万人	3位 東京 約41.6万人
4位 横浜 約40.7万人	5位 渋谷 約37.9万人	6位 品川 約33.6万人
7位 新橋 約25.5万人	8位 大宮 約24.5万人	
9位 秋葉原 約24万人	10位 北千住 約20.3万人	13位 上野 約18.2万人

(出所)JR東日本「各駅の乗車人員2013年度」

企業が 増えている



10年間で企業本社が
112社増加
政令指定都市中 2位



(出所) (株)帝国データバンク(2013年)「さいたま市立地特性分析及び誘致対象地域現況調査等業務」

交通アクセスに優れた
東日本の中心、さいたま市

さいたま市に人が集まる理由はどこにあるのか。まず挙げられるのが「都心への近接性」である。都内主要駅から20分程度で移動できる抜群のアクセスを誇る。さらに、まもなく開業予定の「上野東京ライン」により、東京駅方面へ直通でのアクセスが可能となり、利便性が飛躍的に向上する。

「東日本の玄関口」としての特徴も見逃せない。JR大宮駅は、JR東日本エリア内で乗車人員8位の、東日本屈指のターミナル駅だ。東北・上越など新幹線5路線が乗り入れているほか、多くの路線が通っており、交通利便性に優れている。

さらに今年3月14日には北陸新幹線、2015年度末までには北海道新幹線も開業する予定だ(新函館北斗まで)。特に北陸地方は首都圏からの所要時間が大幅に短縮されることから、多くの人の流れが生まれることが期待されている。

このほか、道路網にも注目したい。圏央道は、2015年度に埼玉県内の区間がすべて開通する予定である。また、外環道も、2017年度には、関越自動車道と東関東自動車道の全区間の開通を控えている。さいたま市はまさに、東日本のネッ

※1 JR東日本「各駅の乗車人員2013年度」



カルソニックカンセイ
代表取締役社長
森谷 弘史氏

当社は2008年、東京都中野区にあった本社をさいたま市に移転しました。また、研究開発センターを設立し、各地区に分散していた設計部門を集約しました。さいたま市を選んだ理由は、群馬、埼玉、神奈川などにある当社のいずれの工場からもアクセスがよいことです。

移転の際にはさいたま市をはじめ地域の方々からも多くのご理解と支援をいただきました。地元の大学との共同研究なども始まっています。

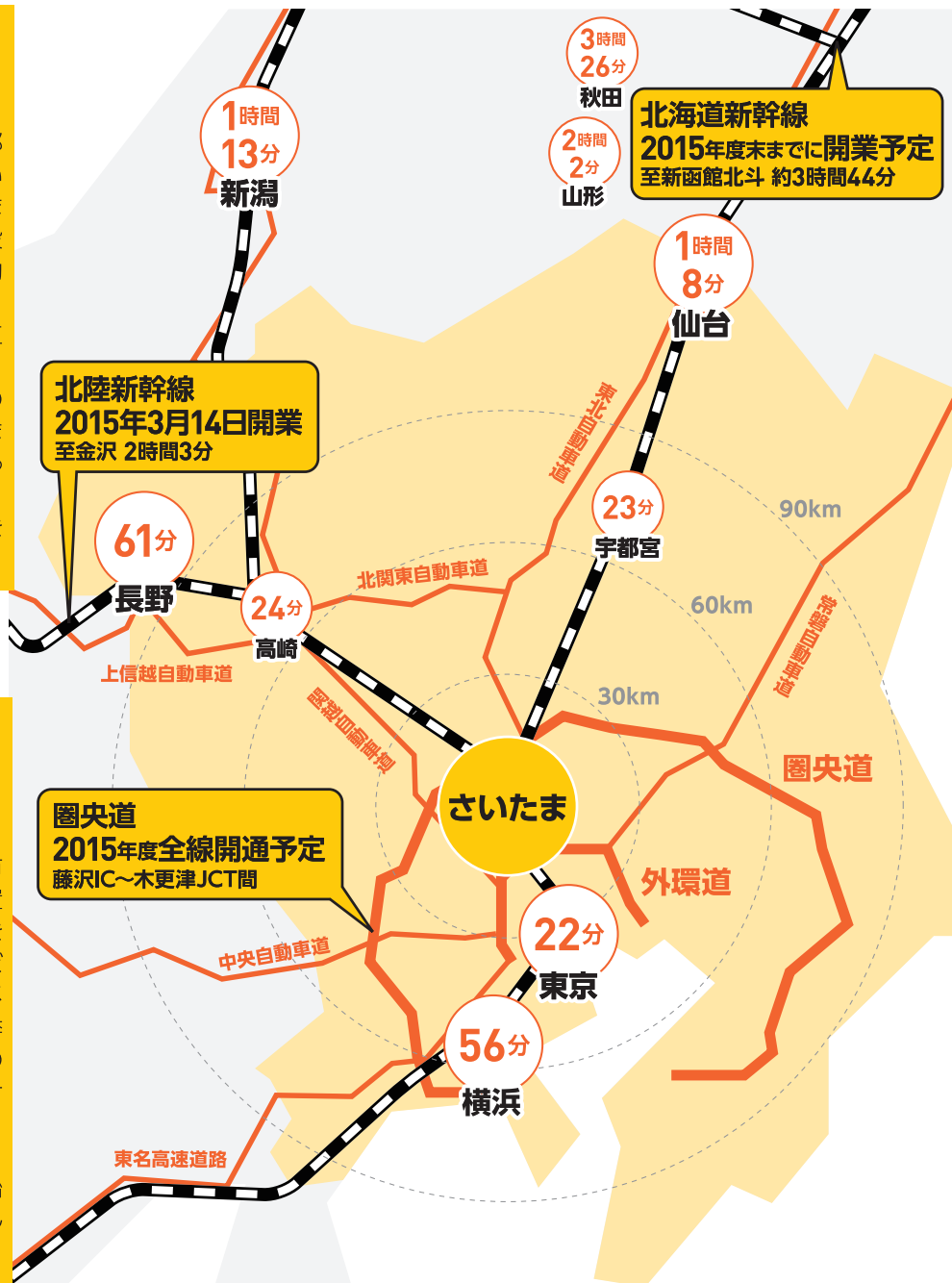
さいたま発の「グローバル本社」機能をさらに強化していきます。



埼玉りそな銀行
さいたま営業部
営業第二部 部長
菊地 耕太郎氏

当社では主にさいたま市の業務を担当する当部を置くとともに、市への進出を検討している企業に支援制度や融資制度などの情報提供を行っています。さいたま市のメリットとして、交通網が充実していることを挙げる企業が多いですね。また、東京に本社のある会社がBCPの観点で、新たに拠点を設けたり移転したりする例も少なくありません。

オフィスビルの需要も高まっていますが、主要駅の周辺では新たなビルの供給も始まっており、街の価値がさらに高まろうとしています。



ネットワークの中心に位置するわけだ。

**多彩な取り組みにより
多くの人々が訪れる都市**

優れた交通アクセスの魅力を生かし、さいたま市では人を引き寄せるさまざまな取り組みを、市を挙げて進めている。たとえばその一つ「さいたまスポーツコミッション」は、スポーツイベントの誘致を積極的に行っている。スポーツイベントの開催等により、さいたま市には年間約2000万人の観光客が訪れており、地域経済の活性化、交流人口の増加等の効果を生み出している。

交流人口の増加は、さいたま市に住みたいと考える定住人口の増加にもつながっている。住環境等が充実していることから、子育て世代にも人気だ。実際に、同市民の平均年齢は42・8歳と若い。^{※3}

**人が集まる都市だから
ビジネスも生まれ、育つ**

さいたま市の人口は約126万人（2014年12月1日現在）と、政令指定都市の中で9番目の規模であり、同市では毎年約1万人のペースで人口が増加している。また、25歳

※2 さいたま市観光振興ビジョン(改定)

※3 平成22年国勢調査(総務省)

東日本の中枢都市 さいたま市



さいたま市長
清水 勇人

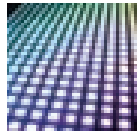
さいたま市は、交通の要衝・大宮駅を抱え、東日本へ向かうにも都内へ向かうにも交通の利便性が良いことが大きな強みです。既存の交通網に加え、今後鉄道網や道路網がさらに整備される計画で、全国各地へのアクセスが飛躍的に向上します。

この地の利に加えて、国の広域防災拠点であるさいたま新都心を有し、地理的に自然災害に強い都市であることも、本市の強みです。こうした強みを高く評価いただき、これまでも多くの企業がさいたま市に進出して下さっています。

私はより多くの企業や市民から選ばれる都市の実現を目指して、現在、本市の強みを活かした「さいたま市成長戦略」を推進しています。行政だけでなく、地域の経済団体や金融機関等と連携し、本市に来ていただいた企業の皆様が一層発展できるよう、これからもビジネス環境を整えてまいります。東日本の中枢都市・さいたま市を、是非皆様のビジネスにご活用下さい。

世界をリードする さいたま市リーディングエッジ企業

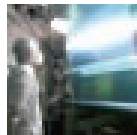
さいたま市が認証する独創性・革新性に優れた研究開発型ものづくり企業～2014年度認証～



(株)朝日ラバー
調色・シリコン・無溶剤接着
<http://www.asahi-rubber.co.jp/>



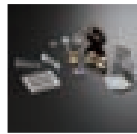
(株)アライヘルメット
F1レースおよび
バイク用ヘルメット
<http://www.arai.co.jp/>



(株)きもと
ウエットコーティング
<http://www.kimoto.co.jp/>



後藤精工(株)
超高精度プレス加工
<http://www.gotos.co.jp/>



(株)住田光学ガラス
自由に自在にしなやかに
<http://www.sumita-opt.co.jp/>



(株)テクノスコープ
高速コンピュータ通信技術・
IEEE1394通信技術・
PCI-Express通信技術・FPGA技術
<http://www.technoscope.co.jp/>



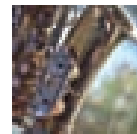
(株)東京チタニウム
チタン溶接・機械加工技術および
設計・開発～加工・製品までの一
貫対応
<http://www.tokyo-titanium.co.jp/>



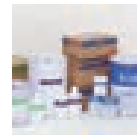
日昭電器(株)
メカトロニクス・分光計測・微小信
号処理・センサ制御・ネットワーク
通信・組込みシステム
<http://www.nissho-denki.co.jp/>



(株)日新化成
超精密プラスチック成形技術
<http://www.nissinkasei.co.jp/>



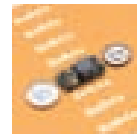
日本電鍍工業(株)
「機美共存」表面処理
<http://www.nihondento.com/>



(株)ハーベス
精密機械用潤滑剤
<http://www.harves.co.jp/>



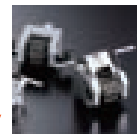
(株)ハママツ
光沢加工技術
<http://www.kk-hamamatsu.co.jp/>



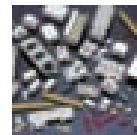
(株)ベルニクス
非接触給電・高効率LLC回路、直
流給電システム・遠隔監視・セミ
カスタムフルデジタル電源
<http://www.bellnix.co.jp/>



ポーライト(株)
焼結含油軸受・焼結機械部品・
MIM製品
<http://www.porite.co.jp/>



山田マシンツール(株)
高精度な刻印と高耐久な刻印機
の開発・製造
<http://www.yamada-mt.co.jp/>



(株)渡辺製作所
通信用コネクタ・光センシング
システム
<http://www.watanabe-mj.co.jp/>

49歳の人口割合が、政令指定都市中第4位であり、企業活動の中核となる人材が豊富と言える。実際に、さいたま市に進出する企業も増えている。過去10年間の企業本社の転入、転出状況を見ると、さいたま市は112社の純増で政令指定都市の中では2位となっている。^{※4}さいたま市に進出する企業が増えている理由として、優れた交通利便性が挙げられる。先に述べたように、同市は東日本の中心に位置しており、都心や各地域に向かうにも非常に便利である。また、BCPの観点から災害に強く、安定した地盤に支えられた内陸都市であることも、企業から選ばれる大きな理由の一つである。

ビジネス拠点として、さいたま市の人気が高まっていることは、賃貸オフィス市場の動向からも明らかだ。市内のオフィスビルの稼働率は高い水準で推移しており、空室率は約4・9%にとどまっている(2014年現在)^{※5}。今後は、大宮駅やさいたま新都心駅、浦和駅周辺で再開発が計画されており、オフィス機能を含むさらなるまちのにぎわいの創出が期待される。人が集まることで、ビジネスが生まれ、育つ、さいたま市の基盤がさらに強化されることになるだろう。

※4 出所：(株)帝国データバンク(2013年)「さいたま市立地特性分析及び誘致対象地域現況調査等業務」

※5 CBRE「ジャパンオフィスマーケットビュー2014年第3四半期」